

## 平成29年度リニモ沿線地域づくり会議の概要

### 1 開催日時等

日 時：平成29年9月4日（月） 午前10時～正午  
場 所：愛知県立大学 長久手キャンパス 多目的ホール  
出席者：委員12名、オブザーバー3名、事務局15名

### 2 会議の概要

#### (1) あいさつ

#### (2) 議事

#### ア 議題1 リニモ沿線の地域づくりに向けた最近の取組状況と「リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020」の進捗状況について

・資料1～7、参考資料1について、事務局から説明した

#### 【委員・事務局発言要旨】

##### ○島田委員

- ・休日を中心とした渋滞対策について、リニモへの転換が抜本的な解決法かと思う。例えばリニモ一日乗車券を組み込んだ旅行商品にするなど。現在一日乗車券は土日エコキップに比べると高いため、実質的に値下げをするためにも旅行商品にすると良い。
- ・1日24,000人を安定して超えていけるようになったら、地域や利用者に対しどうサービスを還元していくかを考えていくべきである。

##### ○愛知高速交通(株)

- ・一日乗車券の値引きは難しいが、イケアオープン後に一日乗車券使用者に対して還元を考えている。その他にも一日乗車券を使った施策を考えていきたい。
- ・利益の還元については、設備投資等を慎重に見極めたうえで地域へ還元していきたい。

##### ○島田委員

- ・将来的に発生するであろう資金不足に対して、地域の住民を味方につけていくためどのように努力していくかが課題であると思う。

##### ○松宮委員

- ・土日の混雑と利用者への取組と共に、リニモの利用者が学生の休み期間である2月と8月に大幅に減ることへの対応策を考えてほしい。例えば、この期間にリニモの料金を下げたり、定期の減額を行う等学生が利用しやすくなる策が必要である。

##### ○清水委員

- ・リニモテラス100プロジェクトについて具体的に教えてほしい。

##### ○長久手市

- ・平成29年度上半期は100プロジェクトを実施しつつ、受け皿の体制づくりを行った。

9月中に100プロジェクト専用のウェブサイトを開設し、イベント等の情報発信を行っていく。

#### ○瀬口委員長

- ・100プロジェクトについて、スペースや活動資金の提供等ができるの良い。100プロジェクトの100とはどのような意味があるのか。

#### ○長久手市

- ・100ぐらい多くのプロジェクトを進めていくという意味である。

#### ○亀倉委員

- ・2月と8月にリニモ沿線に学生が少なくなる問題について、最近は学生は休み期間中にインターンシップを行う流れが多いので、例えばサスティナ研究所のようなインターンシップをリニモ沿線地域で増やしたり、夏から冬にかけて行う活動の発表会を2月に沿線施設で行うと、学生が休み期間中でもリニモ沿線へ訪れると思う。

#### イ 議題2 ラグビーワールドカップ2019を契機としたリニモ沿線の交流人口の拡大について

- ・参考資料2について、事務局から説明

##### 【委員・事務局発言要旨】

#### ○島田委員

- ・こちらでも一日乗車券を旅行商品にすると良い。愛知は個々の観光素材は良いが、観光素材が地理的に集積していないため、愛知らしい新しい旅行スタイルを掲げることができればと思う。新しい旅行スタイルとは、滞在型の旅行スタイルではなく、ビジネスの空き時間、ラグビーの試合の合間時間での観光といった「ちょこっと観光」、「ついで観光」が考えられる。
- ・愛知の一つの観光スタイルに、まず名前をつけること、キャッチコピーがほしい。

#### ○清水委員

- ・愛知の産業観光をどうラグビーワールドカップの観戦客に伝えるか。スポーツイベントに来る人々なので、スポーツを切り口にそこから産業観光に繋げていく策を考えていくと良い。愛知県にはトヨタや中京大学等のスポーツ資源はある。

#### ○野山委員

- ・ラグビーワールドカップの試合の開催日には、会場外でも人が来るような仕掛けを考えていく必要があると思う。
- ・輸送対策も同時に考えていくべきである。愛環、リニモを使用する方へ試合前にリニモ沿線に寄っていただけるようにしていくと良い。

#### ○松宮委員

- ・藤が丘に夜行バスが多く停まるため、夜行バスの利用者をリニモへ繋げることができる。

- ・山の湊号を利用し、新城等の奥三河と繋げていけるため、観光モデルルートも東三河に繋げてほしい。

#### ○三浦委員

- ・豊田商工会議所としてもラグビーワールドカップを通じたまちづくりとして事業計画を掲げているため、しっかりと盛り上げていきたい。また、豊田市へ訪れるための経路の一つとしても、リニモ、愛環を使った交通をPRしていきたいと思う。

#### ○山田委員

- ・作為的に観光資源を作ったり手段の目的化に陥ることなく、作っている側のわくわく感を大切に、ラグビーワールドカップを活かして沿線の地域づくりをしていただければと思う。

#### ○安藤委員

- ・ラグビーワールドカップには外国人も訪れるため、その方たちにSNSを通じて情報発信をしていただけるような仕掛けをして、この一大イベントを機に、この地域が海外から注目を集めさらに人を呼び込めるようにしたらよい。
- ・外国人の方々には日本人が思いもよらないものに関心を示すことがある。その例として、城崎温泉や、姫路駅を通過するのぞみ号が挙げられる。そのため、何が外国人の関心を引くか、この地域に住む外国人の意見を聞いたり知恵を借りて仕掛け作りをしてはと思う。

#### ○小井委員

- ・ラグビーワールドカップ開催前に、豊田スタジアムでのイベントや学生イベント等に力を入れることができると良い。
- ・試合の観戦に来る人は、試合の前後をどう過ごすかは事前に決めてくるはずなので、事前の情報発信が重要である。

#### ○愛知工業大学総合企画課山田課長（井沢委員代理）

- ・ラグビーというスポーツ自体の浸透がまだまだ浅いと思われるため、ラグビーを浸透させるためにリニモ沿線を活用できればと思う。リニモ沿線地域においてもラグビーを浸透させることがラグビーワールドカップへの盛り上がりにつながると思うので、沿線のグラウンドやラグビー部の学生等を活用してみてもはと思う。
- ・藤が丘で宿泊、リニモ、愛環を経由し豊田スタジアムというルートを使用できると良い。

#### ○石黒委員

- ・ラグビーワールドカップの試合当日に豊田スタジアムへ車で訪れようとするすると渋滞が発生する恐れがあるので、リニモ駅周辺の駐車場が活用できれば、リニモを使用し豊田スタジアムへ訪れる人が増えると思う。

### ○亀倉委員

- ・遠方からラグビーワールドカップへ訪れる方は、名古屋市内に宿泊し豊田スタジアムへ行くというパターンが多く考えられる。そのため、名古屋市内の宿泊とリニモ乗車、沿線観光をセットとした旅行商品を作ればと思う。
- ・外国人にとっては、古戦場、万博、陶磁器は注目するポイントであると思うため、これらの資源を活用していただきたい。

### ○山田委員

- ・ラグビーワールドカップ自体の魅力を伝えることが重要である。ラグビーそのものに興味を持たせるために、例えばワールドカップに出場する選手や出場国に注目したり、沿線地域の小学校でこれらを調べさせると良いのではないか。

### ○瀬口委員長

- ・スポーツとしてのラグビーの認知が必要であるが、そのためにリニモ沿線をどのように活用していくか考えていくべきである。
- ・試合当日は交通対策や宿泊対策を考えていくことも必要である。
- ・海外からの方だけではなく、国内から訪れる方に対しても観光をアピールしていけると良い。リニモ沿線を中心にしながら広域観光も考えていただきたい。

## (3) 閉会